

Smart Infra構想の社会実装を支えるプラットフォームと各種取り組み

各インフラ事業者が保持しているデータを事業者間で相互利用し、デジタルツインとして活用することにより効率化を図る考え方を「Smart Infra構想」と呼んでいます。Smart Infra構想を推進するため、各インフラ事業者が持つ社会インフラ設備の情報、それらがどこにあるのかを示す位置情報、環境情報や収集してきた画像や点群データなど、様々な情報を1つの共通基盤(Smart Infraプラットフォーム)に入れ込み、様々な業務アプリケーションや各分野のデータと連携させることにより、自社・他社業務のDXを実現します。

Smart Infraプラットフォームを核とする

アプリケーションでインフラDXを支援



インフラメンテナンスの包括的民間委託

包括的な委託契約や業務代行により維持管理業務などのマネジメント領域に取り組む

